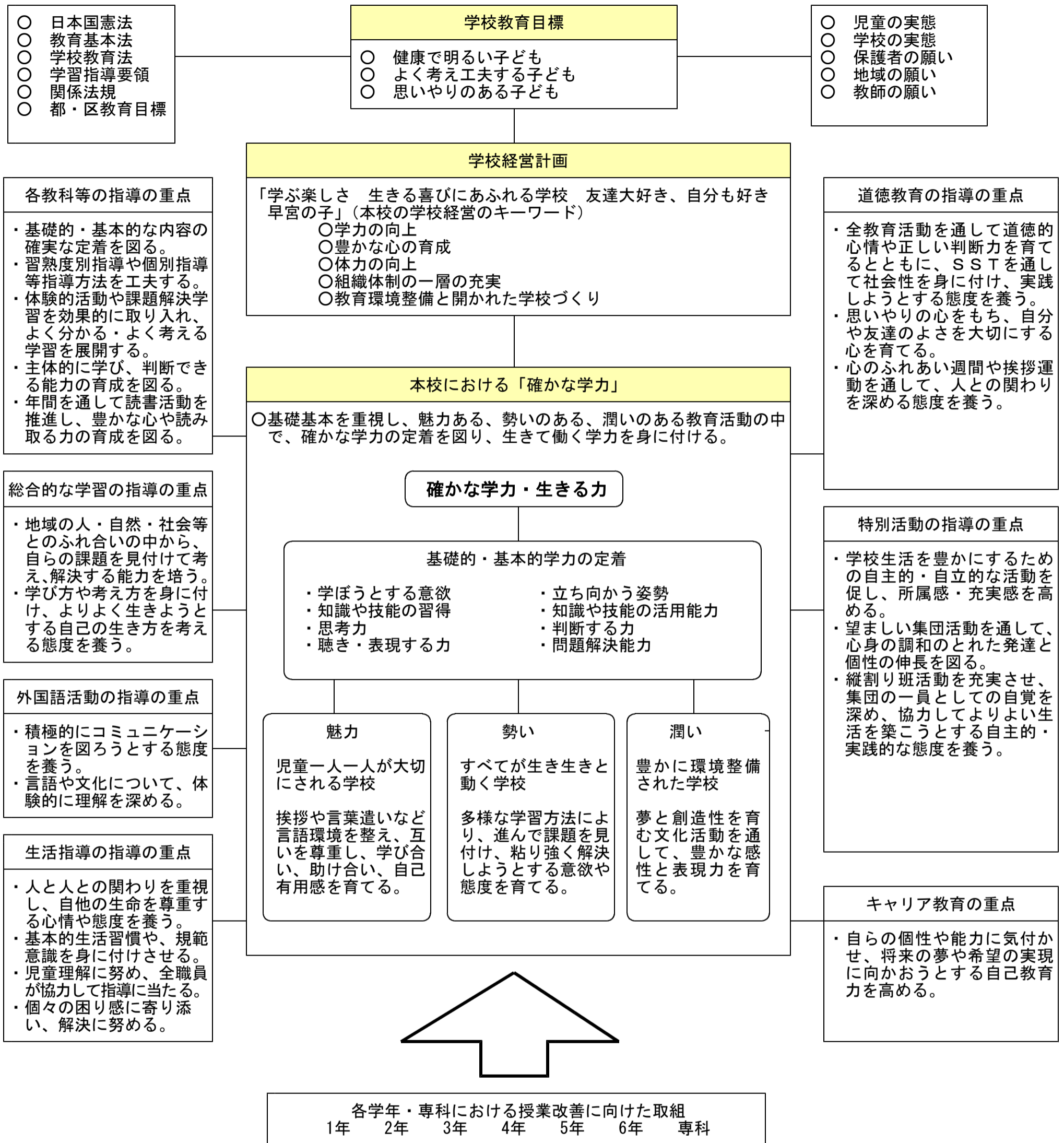


学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究・研修の工夫	評価活動の工夫	家庭・地域との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた課題別、個別学習を工夫する。 習熟度別学習指導(算数)で学力の定着を図る。 習得と活用を図る指導を工夫する。 教科の特性を踏まえた言語活動を充実させる。 学力補充教室を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業時数を十分確保する。 学校行事の見直しを図る。 体力向上の取組を行う。 朝の時間を活用した読書活動の取組を行う。 心のふれあい週間で個別指導を行う。 ゲストティーチャー(専門家)を活用した授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業研究を中心とした校内研究を充実させる。 研究成果を日常の授業に生かす。 若手OJTを実施し授業参観を通じた、授業力向上のための研修を深める。 研修等、校外で得た教育情報を報告し合う。 主任教諭発のミニ研修会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導と評価が一体となった評価計画を作成し実施する。 児童の関心・意欲を高める評価活動を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間8日の学校公開および、道徳授業地区公開講座を実施する。 挨拶運動やクリーン運動など保護者の会と共に実施する。 地域や保護者の教育力を積極的に活用する。 家庭学習の推進により基礎基本の学力の定着を図る。 全体計画をホームページ等に掲載し、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 校区別協議会で協議し共通理解した内容を日常の授業に生かす。 校内研究授業を他校の教員に公開し、幅広く意見を求めることで、校内研究をより充実させるとともに、授業改善に生かしていく。 課題改善カリキュラムを、開進第一中学校・開進第一小学校と連携して、実践・検証し、授業の改善を図る。